



2学期が始まりました！

いよいよ2学期のスタート。登校する子どもたちから、元気な挨拶の声が聞かれました。「校長先生、久しぶり！」と明るく声を掛ける子どもたちに元気をもらいました。この夏休み、大きな事故やけがに関する情報は入っていません。子どもたちが安全に過ごすことができたこと、保護者の皆様のご協力のおかげだと感謝しています。

始業式では、2年生、5年生の代表の子どもたちが、夏休みの楽しか

った思い出や2学期に頑張りたいことなどを、TV放送でみんなに伝えました。私からは、上の3つのことを伝えました。詳細は、次のページをご覧ください。

大掃除では、黙々とごみを拾ったり、草を引いたりする姿が見られました。

授業では、2学期の係や学級委員

を決めたり、目標を立てたりしました。国語科の授業として、夏休みにしたことなどを題材にして、発表をする計画を立てている学級もありました。

子どもたちは、よい表情で1日を過ごしていました。この調子で今週を乗り切ってほしいと思います。ただし、長期休業明けは、1学期の生活習慣に戻さなければならないので、心身ともかなりハードルが高くなることがあります。子どもたちの様子について気になる点がありましたら、すぐに学級担任にお知らせください。

【子どもたちに伝えたこと】

- 1 自分の命をまもること
- 2 粘り強く努力すること
- 3 思いやりの心をもつこと



新しいALTと学びましょう！

2学期から新しいALTが潮見小学校に来られました。ALTの任期は比較的短く、約1～2年程度です。私が、潮見小学校にお世話になって1年半が経ちますが、ALTは既に3人目となります。今回のALTは、授業に入るのが初めてなので、子どもたちからどんどん話し掛けたり、質問をしたりして関わりをもってほしいと思います。楽しい外国語活動、外国語科になることを期待しています。



防災について

8月8日には南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が出されました。また、8月末には、台風やそれに伴う大雨により、各地に大きな被害がでました。

地震臨時情報が「警戒」の場合だったらどうするか、実際に大きな地震が起きた時にはどう対処するか、ということについて、ご家庭でも話し合ったことと思います。台風や大雨については、ある程度予測はできるものの、土砂災害や浸水被害は、地震同様、どこで起きてもおかしくありません。学校における防災については、今後も子どもたちに伝えていきたいと思います。ご家庭でも、改めて、避難場所、避難経路の確認、防災用品の準備などについて、子どもたちと話しをしていただけたらと思います。私は、防災士の資格を持っていますので、食料だけでなくトイレの準備にも気を付けています。排泄に関する防災グッズもたくさんありますので、少し調べてみてはいかがでしょうか。

第2学期の始業式で、以下のことを子どもたちに伝えました。

今日から、2学期がスタートします。みなさんが、大きなけがもなく命とルールを守って夏休みを過ごせたこと、大変うれしく思います。1学期の終業式にお伝えしましたが、きっとみなさんにとって、この夏休みが「行動する夏」になっていたことでしょう。

今日は、3つのことをお話しします。1つめは、自分の命をまもること、2つめは、粘り強く努力すること、3つめは、思いやりの心をもつことです。

まず、自分の命を守ることにについて。

みなさんに気を付けてほしいのは、「熱中症」です。熱中症は命の危険につながります。規則正しい生活に努め、定期的に水分補給をしましょう。また、暑さを感じたときには、無理をせずマスクを外しましょう。



夏休み中に南海トラフ臨時地震情報が出され、注意が呼び掛けられました。みなさんは、どんなことに気を付けましたか。地震はいつ起きるか分かりません。地震を感じた時に頭を守る姿勢を取ったり、家族と避難場所や防災用品を確認したりして、地震に備えておきましょう。



地震以外にも交通事故、水の事故、火災（火遊びは絶対にしてはいけません）、不審者には十分気を付けましょう。

次に、粘り強く努力することについて。

オリンピック、パラリンピックを見た人が多いと思いますが、どの選手も一生懸命努力して大会に参加しています。また、どんな結果になろうとも最後まで競技をする姿も見られました。楽ではないからこそ得られる成果もあるのではないのでしょうか。話は少し違いますが、6年生が行った全国学力学習状況調査ではよい結果が出ていました。6年間の積み重ねがあったからではないかと思います。



最後は、思いやりの心をもつことについて。

これもオリンピックやパラリンピックの選手の言葉の中で感じたことです。選手のインタビューを聞くと、支えてくれた人や応援してくれた人、一緒に競技をした人への感謝や尊敬の気持ちがあらわれていました。選手の人たちは、自分の力だけでは大会に参加することができないことを知っているからです。

一方で、頑張っている選手に対して心無い言葉を投げ掛ける人もいました。人に対して何を言ってもよいわけではないことを潮見っ子の皆さんは知っているはずですが、集団生活の中では、よりよい言葉や行いが、よりよい生活につながると考えています。



今日は3つのことをお話ししました。

2学期には、150周年の行事も控えています。自分の目標を立てて、充実した2学期にしていきましょう。これで校長先生のお話を終わります。